

# 令和2年第8回中津川市教育委員会（定例会）議事録

日 時 令和2年7月16日（水） 午後1時30分～

場 所 にぎわいプラザ 4-1会議室

出席委員 教育長 岩久 義和  
委 員 小栗 仁志 田島 雅子 三尾 和樹 橋本 あみる

事務職員 小関事務局長・大瀧教育次長（兼）学校教育課長・伊藤事務局次長  
（兼）教育企画課長（兼）施設計画推進室長・小栗施設建設対策  
官・丹羽文化スポーツ部長・松井文化スポーツ部次長（兼）オリン  
ピック推進室長・後藤教育研修所長・河合幼児教育課長・西尾発達  
支援センターつくしんぼ所長（兼）発達支援センターどんぐり所  
長・太田阿木高等学校事務長・池戸生涯学習スポーツ課長（兼）少  
年センター所長（兼）勤労青少年ホーム所長・原文化振興課長  
（兼）市史編さん室長（兼）鉱物博物館長（兼）東山魁夷心の旅路  
館長・小池図書館長（兼）蛭川済美図書館長

会議日程 1 開 会  
2 前回議事録の承認  
3 教育長報告  
4 議 事  
5 閉 会

| 日程 | 議 事   | 件 名                                 | 結 果 |
|----|-------|-------------------------------------|-----|
| 第1 | 議第31号 | 令和3年度に使用する小学校及び中学校用教科用<br>図書の採択について | 承 認 |

〔 開 会 〕

■教育長 本日、全教育委員さんにご参加いただいておりますので、教育委員会は成立します。ただいまから令和2年第8回中津川市教育委員会を開催します。

日程第2、前回議事録の承認につきましては、回議とします。

続いて日程第3、教育長報告をします。

前回の教育委員会以降の出席行事等を中心に報告します。

6月26日は恵那地区高等学校長会の瀬瀬会長、恵那高等学校長が来庁されました。7月6日は坂下高校の大野校長先生に来庁していただきました。今後も高等学校との連携を大切にしていきたいと思っております。29日は市議会最終日でした。補正予算を承認していただきましたので、後程、事務局長から報告いたします。30日は国の第二次補正による学習指導員、スクールサポートスタッフの任用などについて説明するため、臨時校長会を開催しました。

7月1日は異動のあった職員3名に辞令を交付しました。内訳は教育委員会への転入が2名、教育委員会内の異動が1名でした。転出が1名ありましたので、教育委員会全体では1名増になりました。この増員は教育企画課に配置し、GIGAスクール構想等の担当を補強しました。同日、東濃地区教育長会に参加しました。2日は神坂小中学校を、3日は東小学校を訪問しました。教育委員さんにもご参加いただきました。ありがとうございました。6日は昨年度末に閉校した田瀬小学校の記念誌贈呈式、坂本地区市議との懇談、市災害対策本部会議がありました。7日は校長会がありました。9日は教科用図書東濃採択地区協議会がありました。この後、採択案について審議していただきます。よろしくお願ひします。15日は落合小中学校を訪問しました。この日も2名の委員さんにご参加いただきました。ありがとうございました。

今後の主な行事です。17日は大垣のソフトピアジャパンを訪問します。毎年ご支援いただいている岐阜サマー・サイエンス・スクールについて、今年度の中止を報告するとともに、今後の継続的な支援をお願いしてきます。22日は新任教育委員、新任教育長研修会に参加します。橋本委員さん、よろしくお願ひします。28日以降、小中5校と2園の訪問があります。お時間があればご参加いただけるとありがたいです。以上です。

次に教育委員会事務局及び文化スポーツ部から報告します。最初に小関事務局長、お願ひします。

■事務局長 前回以降の主な出席行事等についてご報告します。

6月26日は加子母地区小中連携教育等検討委員会が開催されました。加子母地区のこれまでの取り組みについてご説明いただき、今後の日程などについて協議し

ました。詳細、概要については後ほど協議会でご説明します。29日は市議会の最終日で、条例、補正予算など提出案件すべて原案可決していただきました。同日、追加の補正予算を計上しました。中身はコロナ対策、災害復旧の関係が主なものでした。コロナ対策では、子育て世帯の支援のため児童手当を受給している世帯に対して、児童1人当たり2万円を市の独自の事業として給付する予算、国の第二次補正予算で一人親世帯のご家庭を支援するために給付する予算です。加えて教育関係のコロナ対策で、第二次補正予算に計上されたものですが、学校が再開されたことにより、先生方を補助する学習指導員、消毒・除菌作業を行なっただけのスクールサポートスタッフの方たちを配置する予算が、国の第二次補正予算で盛り込まれました。これに伴うそういった方たちを雇用して学校に行っただけの予算を教育委員会で上程して、これについても可決いただきました。各学校でお願いできる方を探していただいて、今、報告が上がってきています。

7月1日、教育委員会の人事異動が行われたので辞令交付を行いました。2日は神坂小中学校の教育長訪問に同行しました。6日、8日、9日は大雨に関する市の災害対策本部会議が開催され、災害の状況等を協議しました。7日は校長会が行われました。15日は毎年ご寄附をいただいている付知ご出身の小南誠様から今年も100万円の寄附をいただきました。

今後の予定です。7月27日から8月6日までに5回の教育長訪問が予定されていますので、同行したいと考えています。以上です。

■教育長 丹羽文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 文化スポーツ部に関わる主な行事や事業について報告します。

現在、すべての文化スポーツ施設について、感染防止対策に基づいて開館をしています。利用者名簿の記入と名簿保管方法について、利用者から中止するようご意見をいただいておりますが、国や県の方針や他市の状況を参考に、安全安心に施設を利用していただくことを第一に、段階的に見直しを検討したいと考えています。

7月豪雨の被害状況ですが、たくさんの施設を管理している関係もあり、公民館2カ所、スポーツ施設6カ所、図書館1カ所、文化施設4カ所に雨漏りが発生しています。また、苗木城では倒木などがありました。被害額を試算しますと、約8千円以上と見積もっています。早急に調整し、補正予算で対応したいと考えております。

主な行事です。6月25日、文化庁文化資源活用課の岩井調査官が苗木城跡現地指導を行われました。その後に市長と面談されました。29日、市議会6月定例会（最終日）が開催されました。7月1日の人事異動では、生涯学習課から1名、文化振興課から1名、図書館から1名が他の部署に異動しました。これは、各種イベ

ントの中止等による全体の業務バランスを考えたの異動です。

7月3日、藤村記念館の斎藤稔館長が、日本遺産の認定のお礼で市長と面談されました。6日から9日まで市災害対策本部会議が開催されました。13日、日本共産党中津川市委員会からコロナ禍での公共施設の利用について意見書が提出されました。同日、全日本年金者組合中津川支部、新日本婦人の会中津川支部、東濃民主商工会から新型コロナウイルス感染症に対する公共施設使用の要望書が提出されました。15日、市スポーツ推進委員会第2回定例会が開催されました。

延期された行事等ですが、豪雨の関係で7月7日に予定していた図書館協議会が延期となりました。

今後の予定です。7月22日、中津高等学校ギターマンドリン部の2・3年生13名が全国大会に出場しますので、激励会を開催します。25日、市長杯マレットゴルフ大会を落合石畳マレットゴルフ場で開催します。29日、苗木在住で元市議の古田一夫氏から「苗木城跡の整備に役立てていただきたい」と寄附金を市長に贈呈されます。以上です。

■教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問等がありましたらお願いします。

ご質問等がないようでございますので、日程第4、議事に入ります。

議事日程第1 議第31号「令和3年度に使用する小学校及び中学校用教科用図書の採択について」は、人事案件ではありませんが、教科書採択の公正確保および適切な審議環境を整える観点から、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に規定する「その他の事件」に該当すると考えられますので、本日傍聴者はみえませんが、中津川市教育委員会会議規則第17条により非公開としたいと思います。また、この議案及び審議結果につきましても、中津川市の採択結果が東濃地区の他市の審議に影響を与えることを防ぐため、令和2年8月31日まで非公開としたいと思います。

非公開としてよろしいでしょうか。

それでは、議第31号「令和3年度に使用する小学校及び中学校用教科用図書の採択について」は、非公開審議といたします。

事務局から提案説明をお願いします。

大瀧教育次長。

[ 事務局から資料に基づき説明 ]

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 私も教科用図書の採択協議会に参加しました。ただいま本当に詳しい説明をいただきましたが、そのとおりでした。特に5つの調査項目の4番目にある東濃地区特有の研究の視点が特徴的だったと思います。

東濃地区という言葉は、中津川市と読み替えることもできるので、中津川市での経験年数等に関わらず、若い先生たちに適切な学習指導や評価を行うことができる力がつくように、扱うことができるようにと解しました。

2番目の基礎学力の定着のためには、中津川市の子供に学び方を教えていくことによって、基礎学力を定着させていくと捉えるとよいと思いました。

協議会の中でどんな意見のやり取りが研究調査員と参加者の間で行われたかというところ、小学校の教科書との系統性、連続性がスムーズにいつているか、その研究調査はあったか質疑がありました。また、若い先生や専門外の先生でも適切に教えられるか、適切に評価ができるようになっていくか念押しがありました。特に芸術教科では題材の配分が適切であるか、たとえば音楽なら歌唱指導と器楽の指導の配分は適切か、美術では造形、絵画、鑑賞等の配分は適切か質疑がありました。また、道徳も含めて魅力ある題材がたくさん教科書に載っているかも話しました。

デジタルコンテンツについては、子供たちにとって有益かどうかから入って、教科書採択の一つの理由や研究調査の一つの要因になっているか質問がありましたが、あまり採択の要因にはなっていないとのことでした。これは、コンテンツがあまりに多すぎて、すべてを調べたわけではないからだと思います。また、研究調査の評価の欄にある「◎」と「○」の違いをもっと詳しく教えてもらえないか、「○」と「・」の差は何なのかという意見もありました。

教育長にもたくさん質問がありましたが、道徳の教科書では、文章や資料がずらりと並んでいるのを見て、1クラス内で子供たちが理解するのに差がついてしまうことも協議・検討されたかという意見もありました。

非常に長い時間でしたが、有意義な会に参加させていただき、ありがたかったと思っています。連続性というところ、特に英語の教科書では小学校での英語の教授内容が多くなってきたので、中学校では今までより教える内容を少し下げているという話もありました。ニュークラウンでいうと、今まで中3の教科書にあった現在完了形が中2の教科書に入っているという具体的な説明もありました。

やはり教科書の向こう側には子供たちがいて、当然、一人一人の理解力、思考力には違いがあります。同じ1つの教科書を使って、中津川の一人一人の子供にどう教えていくかは、教員の力の見せ所だと思います。ぜひ中津川の先生方には新しい教科書を使って、子供たちにできる最大限の教育をやっていただきたいと思います。中津川市にとって一番いい教科書が採択されたと思っています。あとは学校での校

内研修や教科研修等を通して、若い先生はもちろんですが、年配の先生も指導力を磨いていただきたいと思いました。教育委員会としても先生方の負担にならないように研修の機会や研修で方向性を示していけるとよいと思いました。

■教育長 ほかにご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

小栗委員。

■小栗委員 前回の採択のときと今回とで年数が経っているわけですが、この数年の間の教科書の作り方の違いだとか、進歩しているところがあったら教えてください。

■教育長 大瀧教育次長。

■教育次長 QRコードやUDフォントというユニバーサルデザインが増えてきています。1つの教室にさまざまな子供たちが生活していることを踏まえて、できるだけ分かりやすいものを使う工夫が、どの業者からもうかがえます。

■教育長 後藤教育研修所長。

■教育研修所長 若い教員にとってもという話をしましたが、学習手引き的なところも充実しております。また、子供たちが教科書を見て、この単元でどんな学びをするのかが詳しく記載されており、自分でも勉強ができるような細かな内容も十分配慮されて作られています。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 私は、前回も出させていただいたのですが、今回はコロナウイルス感染防止の観点から、机をコの字型またはロの字型に並べるのではなく、前に説明する研究調査員がいて、ほかはみんな対面で一定の距離を取りながら行われたので、非常に質疑応答が多かったという印象を受けました。ロの字型だと人の顔がみんな見えてしまうので、発言するのに非常に勇気が要るといえるか、ドキドキもして、今回は私も黙っているうちに終わりました。教育長やほかの皆さんは、たくさん質疑をされていて、それが今回の教科書採択の特徴でもあり、掘り下げた採択といえるか、どうしてこれを選んだかを共通して理解しました。

■教育長 私も参加していました。現在使っている教科用図書と今回採択する教科用図書の大きな違いの一つに、教科書自体の形に縦長のものが出てきたことです。それから、子供たちにはかなりの重量になるので、登下校時の持ち運びの便利さも、教科書発行者は気にし始めたのかなと見受けられます。

ただ、情報量は以前と比べるとますます増えた気がします。視覚的にとらえる資料がどんどん増えてきました。どの教科でも共通していると思います。結果、形を工夫や軽量化をしていますが、意外と変わっていないです。この傾向がこのまま進んでいくと、近い将来教科書は今のようない紙ベースではなく、デジタル化さ

れるのかなと思います。今回、そんな兆候が垣間見られる改訂であり、教科書発行者の姿勢だったかなと見ました。

田島委員。

■田島委員 教育長がおっしゃったように、私も心配事があります。教科書メーカーは、自社の教科書を使ってほしくて、どんどんエスカレートしているわけですね。QRコードのような今までなかったものが載っていますし、ユニバーサルデザインにも考慮し始めました。情報量が益々多くなり、QRコードによってより多くなりますが、子供たちの時間は限られています。手で持って見開きできなくなる懸念があると言われました。情報量が多くなればいいというものではないです。文科省にそういうものに歯止めをかける組織はあるのでしょうか。文科省から「こう指導をしてください」というのが教科書メーカーに伝わり、メーカーが切磋琢磨しながら教科書を作っていくのですか。

■教育長 大瀧教育次長。

■教育次長 文部科学省の認定がありますので、その点は教科書には必要なことと思います。歯止めについては、現在確認できませんので確認します。

■教育長 田島委員。

■田島委員 メーカーは利益を追求して、どんどんエスカレートしていきます。ゲームが子供たちのためにならないと縮小することを論じている方もいますが、ただ論じているだけで何の歯止めにもならず、エスカレートしてってしまうものです。教科書も情報量が膨大になり、持ち歩けなくなるようにエスカレートしてしてしまうのは、ちょっとぞっとします。

■教育長 教科用図書の発行者は、学習指導要領の中身を各社なりに咀嚼し、教科用図書の型に落とし込んでいきます。その中で、社会ニーズはきちんと踏まえてはいると思います。あまり重すぎて、毎日の登下校に負担のかかるようなものについては、やはり苦しいという世間の指摘を彼らは把握しています。国としてもそういう方向性については示していると思います。詳細は確認して次長が報告します。中身については、国の検定があるので、国の検定制度についての是非論は昔からさまざまあるわけですが、内容については国のお墨付きがあるものです。どの教科書発行者が作成した教科書を用いても、中身については基本的には問題ないです。だからこそこの地域で普段教鞭を執っている各教科の専門性の高い先生方等が集まって、しっかり時間を取り調査研究していただいて、東濃地区の先生方や子供たちにとってどうなのかという選び方をしているわけです。内容についてはどこも基本、問題ないです。ただ、サイズや重さ等については、工夫が見えてきているので悪い傾向ではないと思っています。

田島委員。

■田島委員 三尾委員が、東濃地区、中津川には若い先生が多いので、どなたでもしっかり指導できることに非常に重点を置いておられることはよく分かりました。まずはどの若い先生でもしっかりと同じことを教えられることが非常に大事なことはよく分かりますが、先生方の工夫と先生方の個性が上手に出るように、教育研修所の夜学やいろいろな指導を行なっていただいて、AIがやっても同じだということにならないように、あの先生の授業を受けたいという教員を育てていただけるとありがたいと思います。

■教育長 後藤教育研修所長。

■教育研修所長 中津川市には嘱託所員会という組織があります。各教科のすぐれた実践をしている教員で組織された会です。そこで自分の実践をまとめるに当たって、今回も9月から夜学で講義を開催していくのですが、現場の先生の困り感といったところも集めながら、それに応える形で指導法を改善していく講話を開催していく予定です。今後もまた充実させていきたいと思っています。ありがとうございます。

■教育長 そのほかご意見、ご質問等ございませんか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第31号については承認ということでよろしいでしょうか。

議第31号「令和3年度に使用する小学校及び中学校用教科用図書の採択について」は、原案どおり承認とします。

これをもちまして、本日の議事は終了しました。委員の皆さん、ありがとうございました。

それでは、事務局から次回の開催日程について報告してください。

伊藤事務局次長。

■事務局次長 次回開催日は、令和2年8月17日、月曜日、13時30分から、にぎわいプラザ4-1会議室にて定例会を開催いたします。

■教育長 次回は、令和2年8月17日、月曜日、13時30分から、にぎわいプラザ4-1会議室にて定例会を開催いたします。

以上で、令和2年第8回中津川市教育委員会を終了といたします。お疲れ様でした。

[ 閉 会 (午後2時38分) ]